

●セットアップをする ...Windows®CE2.0/2.11

◇STEP1 ドライバをインストールする

留意事項

- 本モデムに対応していない市販通信ソフトは、ご使用できません。お手持ちのモバイルPCに合わせて、本モデム対応の市販の通信ソフトをご使用ください。
- モバイルPCのレジャー機能は使わないでください。本モデムにコマンドが入らなくなります。サスペンド状態から復帰した場合、正しく通信できない場合があります。その時はパソコンを再起動してください。
- Windows®CEのバージョンなどにより、表示される画面が異なる場合があります。
- Windows®Powerd Poket PC または Pocket PC 2002 をお使いの方は P70 ~ をご参照ください。

1 モバイルPC(Windows®CE)の電源をOFFの状態にし、本モデムをモバイルPCのカードスロットに挿入してください。

2 モバイルPCの電源をONの状態にし、Windows®CEを起動してください。

3 “このPCカードをバッテリーで使用しますか？”と表示された場合は、「はい」をタップしてください。

これでモデムのインストールが完了しました。

◇STEP2 リモートネットワークを設定する

1 「スタート」→「プログラム」→「通信」→「リモートネットワーク」の順にタップしてください。

2 「新しい接続」をダブルタップしてください。

3 「新しい接続」画面が開きますので「接続名」欄に接続名（プロバイダ名等、ここでは「OMRON」）を入力してください。

「接続の種類」欄がある場合は“ダイヤルアップ接続”をチェックしてください。

「次へ」をタップしてください。

4 「モデムの選択」欄から「OMRON ME5614C2」を選択した後、「モデムの設定」をタップしてください。

5 「デバイスのプロパティ」画面が開きます。「ポートの設定」タブの「通信速度」を「115200」を選択してください。

6 「呼び出しのオプション」（もしくは「ダイヤルオプション」）タブの「追加設定」欄に“W2”を入力し、画面右上の「OK」をタップしてください。

7 「TCP/IP の設定」をタップしてください。

8 「TCP/IP の設定」画面が開きますので、「ネームサーバー」タブの“サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス”のチェックをはずし、プロバイダからの情報を参考に「プライマリ DNS / セカンダリ DNS」を入力し（例：123.45.67.89）、画面右上の「OK」をタップしてください。

9 「次へ」をタップしてください。

10 「国番号」（国番号を入力します）、「市外局番」（空欄にします）、「電話番号」（アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します）を入力し、市外なら“市外通話としてダイヤル”、市内なら“市内通話としてダイヤル”をチェックして「終了」をタップしてください。

これで、リモートネットワークの設定が完了しました。

FAX送信などにご利用の方は以上でセットアップ終了です。

インターネットに接続する方は、次の【STEP 3】へお進み下さい。

◇ STEP3 インターネットへ接続する

インターネットに接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここでは、ブラウザソフトとして「インターネットエクスプローラ」を使用した場合の接続例を紹介します。

- 1** 「スタート」→「プログラム」→「通信」→「リモートネットワーク」の順にタップしてください。
- 2** P67で作成した接続名（ここでは「OMRON」）をダブルタップしてください。
- 3** 「ダイヤルアップ接続」画面が開きます。「ユーザー名」「パスワード」を入力してください。“パスワードの保存”をチェックすると、再接続の際、パスワードを入力する必要がなくなります。「ダイヤルのプロパティ」をタップしてください。
- 4** 「ダイヤルのプロパティ」画面の「電話回線の設定」で「ダイヤル方法」（トーン、パルス）を選択し、画面右上の「OK」をタップしてください。
- 5** 「ダイヤルアップ接続」画面で「接続」をタップしてください。プロバイダへの接続が完了したら、デスクトップ上の「インターネットエクスプローラ」アイコンをダブルタップしてください。
- 6** アドレスの欄に「<http://www.omron.co.jp/ped-j/>」と入力してください。オムロン株式会社周辺機器事業部のホームページが表示されます。
- 7** ブラウザを終了します。
「ファイル」→「閉じる」をタップしてブラウザソフトを終了してください。

8 電話回線を切断する。

「接続完了」画面の「切断」をタップして、アクセスポイントへの電話を切断してください。

「接続完了」画面が表示されていない場合は、タスクバーに格納されている「接続」アイコンをタップしてください。

留意事項

- 上記7でブラウザを終了しただけでは、アクセスポイントへの電話は切断されません。電話がつながった状態が続き、電話料金が加算されます。必ず上記8項の電話回線の切断を実行してください。

●セットアップをする ...Windows®CE Windows® Powered Pocket PC Pocket PC 2002

◇STEP1 ドライバをインストールする

留意事項

- 本モデムに対応していない市販通信ソフトは、ご使用できません。お手持ちのモバイルPCに合わせて、本モデム対応の市販の通信ソフトをご使用ください。
- モバイルPCのレジューム機能は使わないでください。本モデムにコマンドが入らなくなります。サスペンド状態から復帰した場合、正しく通信できない事があります。その時はパソコンを再起動してください。
- Windows®CEのバージョンなどにより、表示される画面が異なる場合があります。
- Windows®CE 2.0 または 2.11 をお使いの方は P66 ~をご参照ください。

1 モバイルPCの電源をOFFの状態にし、本モデムをモバイルPCのカードスロットに挿入してください。

2 モバイルPCの電源をONの状態にし、Windows®CEを起動してください。以上でモデムが認識されました。

◇STEP2 インターネットに接続するための設定を行う

- ・入力が必要な項目については、空欄をタップすると、画面下にキーボードが表示されますので、そこで入力します。
- ・各設定内容は、プロバイダから通知された情報にしたがって設定します。
- ・ご使用の環境により、表示される画面が異なる場合があります。

1 [スタート] メニューから[設定]をタップしてください。

2 設定画面で[接続]タブ → [モデム] (Pocket PC 2002をご使用の場合は、[接続])の順にタップしてください。

3 [新しい接続] をタップしてください。
[新しい接続]項目が表示されない場合は4.に進んでください。
(Pocket PC 2002をご使用の場合は、「必要に応じて、インターネットへ自動的に接続します」の欄から[インターネット設定]を選択して[変更]をタップしてください。次に[追加]をタップしてください。)

4 [接続名]、[モデムの選択]、[通信速度]の各項目を設定します。設定が終わったら[詳細設定]をタップしてください。

接続名 : 接続名(プロバイダの名前など 例: OMRON)を入力します。
モデムの選択 : 「OMRON-ME5614C2」を選択します。(Pocket PC 2002は[COM1上のヘイズ変換モデム]を選択します。)
通信速度 : 「115200」を選択します。

5 詳細設定画面が表示されます。必要に応じて各タブをタップして画面を表示し、各項目を設定してください。

[TCP/IP]タブをタップしてください。
加入しているプロバイダによって設定が必要です。プロバイダから通知された情報にしたがってください。詳しくはご加入のプロバイダに確認してください。

6 [ネームサーバー]タブをタップしてください。加入しているプロバイダによって設定が必要です。“指定されたサーバーアドレス”をチェックし、プロバイダからの情報を参考に「プライマリDNS/セカンダDNS」を入力(例: 123.45.67.89)してください。

7 「デバイスのプロパティ」を開き、呼び出しのオプションタブから「追加設定」欄に“W2”を追加してください。設定が完了したら画面右上の[OK]をタップしてください。

8 設定画面に戻りますので、[次へ]をタップしてください。

9 設定画面が表示されます。各項目を設定してください。入力が終了したら[次へ]をタップしてください。

国番号 : 国番号を入力します。
市外局番 : 市外局番は、削除して空欄にします。
電話番号 : アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。

10 設定画面が表示されます。
ここでは設定する必要がありませんので、[終了](Pocket PC 2002をご使用の場合は、[完了])をタップしてください。

11 モデム接続画面に戻り、新たに入力した接続名(OMRON)が表示されます。
[ダイヤル]タブをタップしてください。
(Pocket PC 2002をご使用の場合は、右上の[OK]をタップして、接続画面に戻ったら、[ダイヤルのプロパティ]タブをタップしてください。)

12 各項目を設定します。設定が終了したら、[OK]をタップしてください。

発信元	: 使用にあわせて選択します。
トーン, パルス	: ご使用の回線にあわせて選択します。
市外局番	: 削除して空欄にします。
キャッチホン機能の解除	: チェックの必要はありません。

13 設定画面に戻ります。
FAX送信などにご利用の方は以上でセットアップ終了です。
インターネットに接続する方は、次の【STEP 3】へお進み下さい。

◇STEP3 インターネットへ接続する

Windows® Powered Pocket PC の場合

(Pocket PC2002 をお使いの方は P75 をご参照ください。)

- 1** [スタート]メニューから[Internet Explorer]を選択します。
Internet Explorer が起動します。
[スタート]メニューに[Internet Explorer]が無い場合は、[スタート]メニューから[プログラム] → [Internet Explorer]の順にタップしてください。
- 2** 画面左下の[ツール] → [オプション]の順にタップしてください。
- 3** [接続]タブをタップしてください。[種類:]欄では接続名を選択します。
設定が終了しましたら画面右上の[OK]をタップしてください。
種類: 接続名を選択します。「インターネットに接続するための設定を行う」の手順4 (P71)「接続名」でつけた名前です。
- 4** 画面左下の[ツール] → [接続]の順にタップしてください。
[接続]が選択できず、[切断]表示になっている場合は、(もしくは「接続が存在します」という画面が表示された場合、画面は[OK]をタップして閉じます。)
[スタート] → [Today]の順にタップします。画面下の[接続]アイコンをタップして接続を切断してから再度行ってみてください。
- 5** 「Internet Explorer を使用するために接続を選択する必要があります。今すぐ接続を選択しますか?」と表示されましたら[はい]をタップしてください。画面は表示されない事があります。

6 各項目を設定します。入力する際は半角英数で入力します。
入力が終了したら[接続]をタップしてください。

ユーザー名 : 接続用 ID を入力します。

パスワード : 接続用パスワードを入力します。

ドメイン : プロバイダに接続するときは、空欄のままにしておきます。

電話番号 : 「インターネットに接続するための設定を行う」の手順9(P71)の電話番号が表示されていることを確認します。番号が間違っている場合は[ダイヤルオプション]をタップし、必要に応じて設定変更してください。

「パスワードの保存」チェックボックスにチェックすると、次の接続からパスワードの入力が不要になります。

チェックを入れると「パスワードの保存」確認の画面が表示されます。内容を理解の上、[OK]をタップしてください。

7 インターネットへの接続が始まります。
接続が完了すると、アドレスバーに入力されているホームページが表示されません。

アドレスバーをタップするとキーボードが表示されます。

「<http://www.omron.co.jp/ped-j/>」と入力してください。オムロン株式会社周辺機器事業部のホームページが表示されます。

新しいアドレスを入力すると他のホームページを表示することができます。

8 回線を切断するときは、[ツール] → [切断]の順にタップします。
自動切断できない場合は、[スタート]メニュー → [Today]の順にタップします。
画面下の[接続]アイコンをタップして接続を切断してください。

Windows® Powered Pocket PC 2002 の場合

(Pocket PC をお使いの方は P73 をご参照ください。)

- 1** [スタート]メニューから、[設定]→[接続タブ]→[接続]の順にタップしてください。
- 2** [インターネット接続]で[変更]をタップしてください。
- 3** 接続名 (例: OMRON) をタップしたまま押さえ、[接続]をタップしてください。
- 4** ネットワークへのログオン画面が表示されたら、[ユーザ名]、[パスワード]を入力して[OK]をタップしてください。インターネットへの接続が始まります。
- 5** 接続が完了すると、[接続完了]の画面が表示され画面上部に矢印のマークが表示されます。[スタート]メニューから[Internet Explorer]を選択してください。
- 6** 回線を切断するときは、画面上部の矢印のマークをタップして[終了]をタップしてください。

●セッアップをする ...Macintosh

ME5614C2 をパソコンのカードスロットに挿入し、電話回線との接続ができれば、「ドライバ (CCL ファイル)」をパソコンにインストール (組込み) します。そのとき、ご使用のパソコンの種類に対応した事前準備が必要です。

留意事項

- 「ドライバ (CCL ファイル)」は、添付 CD-ROM をご使用ください。
- Mac OS のバージョンによっては、表示される画面が異なる場合があります。

◇STEP1 ドライバをインストールする

本モデムの「ドライバ (CCL ファイル)」は添付 CD-ROM に入っています。添付 CD-ROM を使用してインストールを行います。

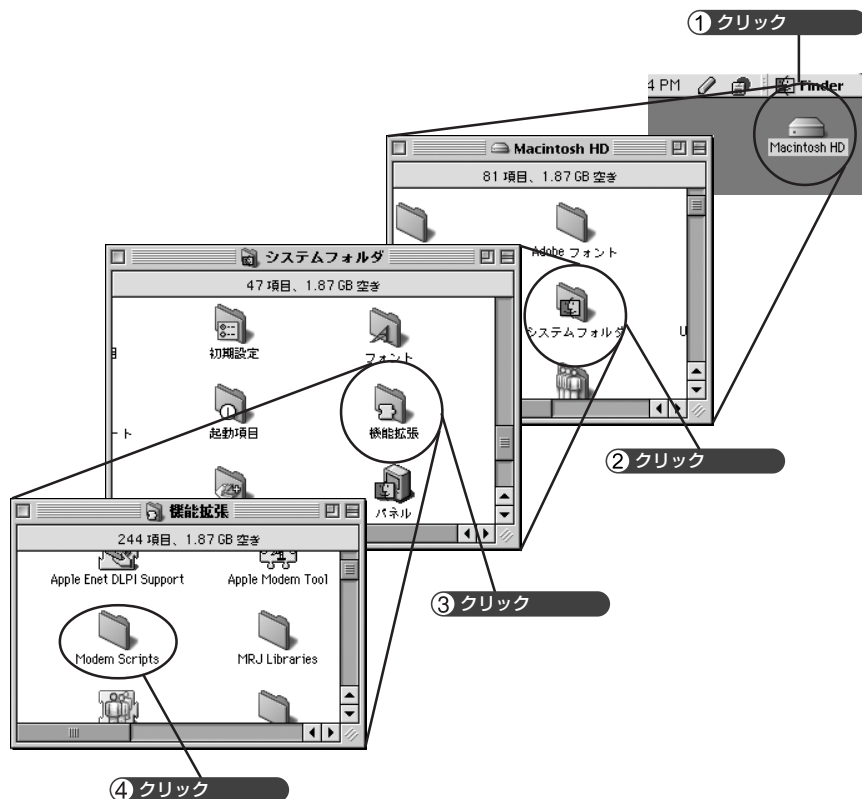
この「ドライバ (CCL ファイル)」のインストールが完了すると電話回線で使用することができます。

留意事項

- 本モデムに対応していない市販通信ソフトは、ご使用できません。お手持ちのパソコンに合わせて、本モデム対応の市販の通信ソフトをご使用ください。
- パソコンのレジューム機能は使わないでください。本モデムにコマンドが入らなくなります。サスペンド状態から復帰した場合、正しく通信できない場合があります。その時はパソコンを再起動してください。

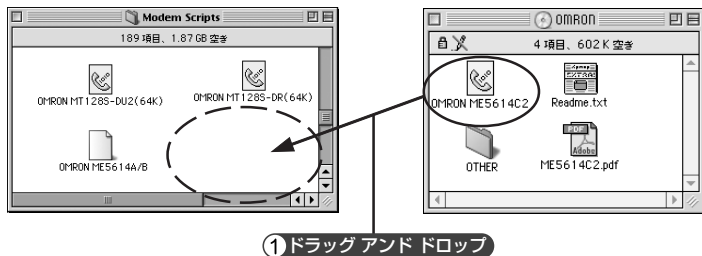
1 パソコンを起動後、添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。

2 「Modem Scripts」フォルダを表示する
 「Macintosh HD」→「システムフォルダ」→「機能拡張」→「Modem Scripts」の順にダブルクリックしてください。



3 ドライバ (CCL ファイル) を「Modem Scripts」フォルダにコピーする
 デスクトップ上のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

4 CD-ROM内の「OMRON ME5614C2」をドラッグして、「Modem Scripts」フォルダ内にドロップしてください。



コピーが終了したら、全ての画面を閉じ、CD-ROMをパソコンから取り出してください。

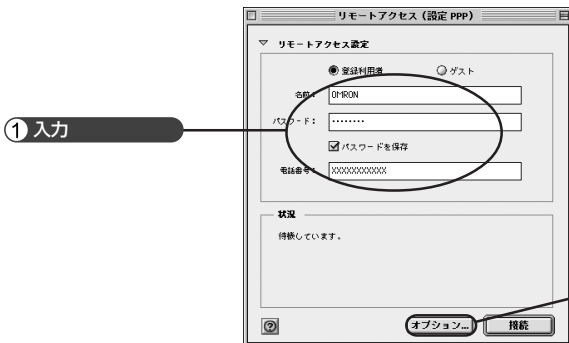
◆STEP2 リモートアクセス(PPP)とTCP/IPを設定する

インターネットに接続するには、Mac OSに標準装備されている「リモートアクセス」(Mac OS 8.1では、「Open Transport PPP」)と「TCP/IP」を使用します。使用する設定がされていない場合は、機能拡張マネージャで、使用するよう設定してください。Mac OSのバージョンによっては機能拡張がない場合もあります。機能拡張マネージャがない場合は、Mac OSのシステムCD-ROMから「リモートアクセス」または「Open Transport PPP」機能拡張ファイルをインストールしてください。

1 「アップルメニュー」→「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を選択してください。

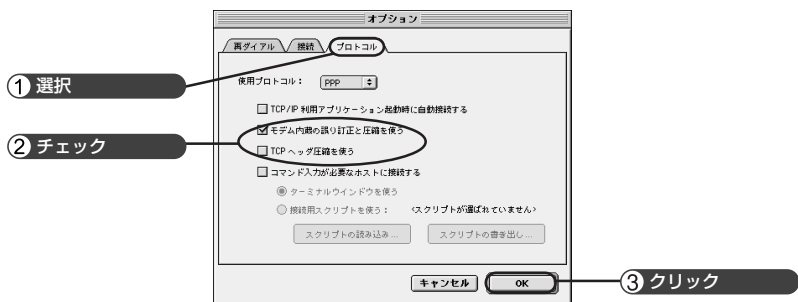


2 「名前」・「パスワード」・「電話番号」欄を入力してください。「パスワードを保存」をチェックすると、再接続の際のパスワード入力が必要ありません。設定が終了したら、「オプション」をクリックしてください。



3 「プロトコル」タブをクリックして、以下の項目を設定してください。

- ・使用プロトコル 「PPP」 を選択
(Mac OS のバージョンによっては表示されません。)
- ・モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う チェックしてください。
(Mac OS のバージョンによっては若干表現が異なります。)
- ・TCP ヘッダ圧縮を使う プロバイダから通知された設定にしたがってください。

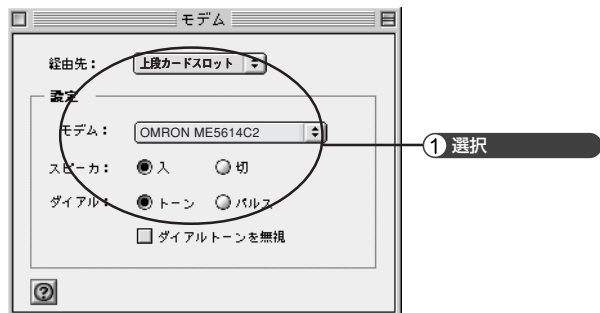


設定が終了したら、「OK」をクリックしてください。

4 デスクトップメニューバーの「リモートアクセス」→「モデム」を選択してください。

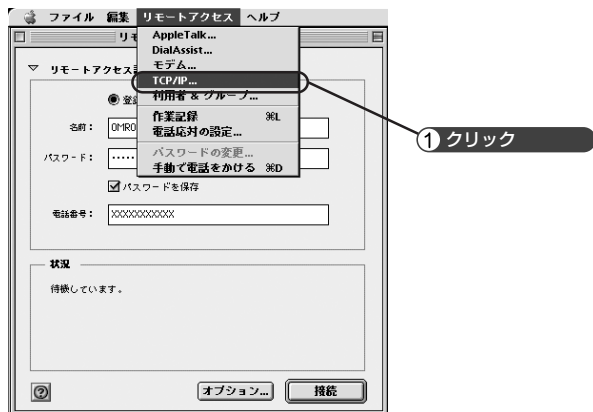


- 5** 「経由先」、「モデム」、「ダイアル」欄を設定してください。
- ・ 経由先 「上段カードスロット」または「下段カードスロット」を選択
 - ・ モデム 「OMRON ME5614C2」を選択
 - ・ ダイアル ご使用の回線の種類にあわせてます。

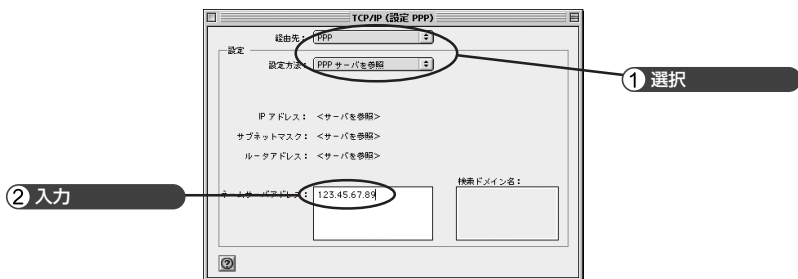


設定が終了したら、「モデム」画面左上の をクリックして、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」とメッセージが表示されたら、「保存」をクリックしてください。

- 6** デスクトップメニューバーの「リモートアクセス」→「TCP/IP」を選択してください。



- 7** 「経路先」、「設定方法」、「ネームサーバアドレス」を設定してください。
- ・ 経路先 「PPP」を選択
 - ・ 設定方法 「PPPサーバを参照」を選択
 - ・ ネームサーバアドレス プロバイダから与えられたDNSアドレスを入力してください。(例：123.45.67.89)



設定が終了したら、「TCP/IP (設定 PPP)」画面左上の をクリックして、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」とメッセージが表示されたら、「保存」をクリックしてください。

以上で、リモートアクセス、TCP/IP の設定は終了しました。

FAX送信などにご利用の方は以上でセットアップ終了です。

インターネットに接続する方は、次の【STEP 3】へお進み下さい。

◇STEP3 インターネットへ接続する

インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここではブラウザソフトとして「インターネットエクスプローラ」を使用した場合の接続例をご紹介します。

1 「リモートアクセス」画面を表示する

「アップルメニュー」→「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を選択してください。

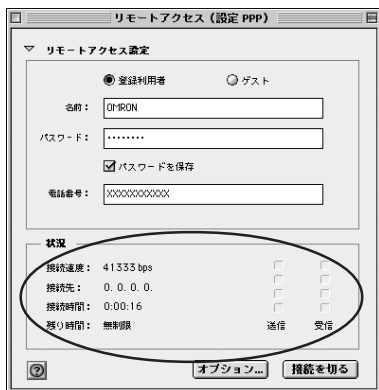


2 インターネットに接続する

「リモートアクセス（設定 PPP）」画面が表示されます。「接続」をクリックしてください。



「状況」欄に接続中の状況が表示されたら、インターネットに接続できました。



3 インターネットエクスプローラを起動する

デスクトップ上のブラウザアイコンをダブルクリックしてください。

(この例では「インターネットエクスプローラ」が起動します。

「インターネットエクスプローラ」のアドレス欄に「<http://www.omron.co.jp/ped-j/>」と入力してください。

オムロン株式会社周辺機器事業部のホームページが表示されます。

① 入力

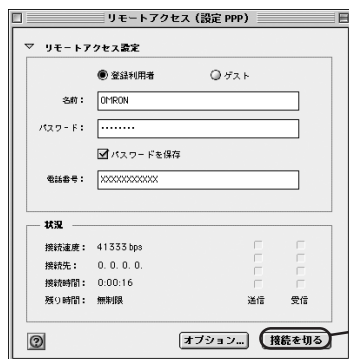


4 「インターネットエクスプローラ」を終了する。

「ファイル」メニューの中から「終了」をクリックしてください。

5 電話回線を切断します。

「リモートアクセス (設定 PPP)」画面で、「接続を切る」をクリックしてください。アクセスポイントへの電話が切断されます。



「リモートアクセス (設定 PPP)」画面が表示されていない場合は、「アップルメニュー」→「リモートアクセス状況」をクリックしてください。

留意事項

- 前ページの4項で「インターネットエクスプローラ」を終了しただけでは、アクセスポイントへの電話は切断されません。電話がつながった状態が続き、電話料金が加算されます。必ず上記5項の電話回線の切断を実行してください。

● AT コマンドの基本

ATコマンドは米国ヘイズ社によって開発されたモデム用コマンドで、AT○○○とパソコンより入力することにより、通信することができます。

■ AT コマンドとは

ATコマンドでは、端末がモデムに送る命令を「コマンド」、命令に対してモデムから端末に返される文字列を「リザルトコード」と呼びます。ATコマンドは必ずATという文字で始め、最後にリターンコードを入力します。(A/を除く)。ATに続くコマンドは1行に複数入力することができます。大文字(AT)と小文字(at)の両方が使えます。(ただし、大文字と小文字の混在はできません)

ATコマンドのフォーマットは次のようになります。

A	T	コマンド	パラメータ	コマンド	パラメータ	コマンド	...	CR	LF
---	---	------	-------	------	-------	------	-----	----	----

最大37 (ATを含め39) 文字

※LFコードは省略可能

リザルトコードには単語と数字の形式があり、次のようなフォーマットになります。

CR	LF	リザルトコード (単語)	CR	LF
----	----	--------------	----	----

リザルトコード (数字)	CR
--------------	----

■ データフォーマットの自動認識

ATコマンドでは、モデムは端末(パソコン、ワープロ等)から送られてくるコマンド先頭のATの2文字を検出することにより、端末の通信速度とデータフォーマットを自動的に認識します。

認識したデータフォーマットは不揮発メモリに保存可能です。

【例】 AT ↵

留意事項

- 本モデムでは、通信速度、データフォーマットの初期値は「通信速度＝9600bps」、「データ長＝8ビット」、「パリティ＝なし」になっています。キャラクタ長は10ビット固定です。不揮発メモリに保存する場合は、AT&W0もしくはAT&W1 ↵と入力します。

■ コマンドリスト

● AT コマンド

● nは数値、mmは文字列を示します。

● パラメータ解説のデフォルト値は*、保存可能コマンド・レジスタは#で示しています。

コマンド (nは数値、 mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
A/	直前のコマンド再実行		
ATA	強制着信		
# ATBn	通信規格選択：ITU-T規格、BELL規格の選択	*0 1	ITU-T規格 BELL規格
ATDmm	ダイヤル モデムから電話回線にダイヤル信号を送ります。	0~9 *、# T P S=n W @ , ; L	電話番号 DTMF信号(トーンダイヤルのみ) トーン(ブッシュ)式に変更 パルス(タプル)式に変更 AT&Znコマンドでメモリ内に記憶している電話番号をダイヤルします。 nは0~3まで使用可能 ダイヤルトンの検出 無音の検出 ホース(S8レジスタで設定) ダイヤル後コマンドモードに戻る 直前にダイヤルした番号に再ダイヤル
# ATEn	コマンドエコー モデムに入力した文字列を端末にエコーバックさせます。	0 *1	なし あり
# ATHn	回線制御 電話回線のon、off制御	0 1	onフック offフック
ATI	プロダクトID表示	0 1 2 3	プロダクトコード表示 ROMチェックサム表示 ROMチェックサム検証 型式、バージョン情報

AT コマンドの基本

	コマンド (nは数値、 mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
#	ATMn	モニタスピーカ動作設定	0 *1 2 3	常時オフ 通信開始まで常時オン 常時オン ダイヤリング時オフ、それ以外はパラメータ1と同じ動作
	ATOn	オンラインモードへの復帰、強制リレイン：スケープモードからの動作を設定します。	0 1	オンラインモードへの復帰 強制リレインによるオンラインモードへの復帰
#	ATP	ハルス(ダイヤル)設定		
#	ATQn	リポート有無の設定	*0 1	あり なし
	ATSn=X ATSn?	Sレジスタの設定 Sレジスタの設定、参照を行います。詳細はSレジスタ一覧を参照してください。	n X ?	レジスタの番号 設定値 内容問い合わせ
#	ATT	トン(フッシュ)設定		
#	ATVn	リポート表示形式コマンドを入力したときに、その実行結果を知らせる形式です。	0 *1	数字形式 単語形式
#	ATWn	接続完了時の通信速度表示形式の設定	0 *1 2	端末ーモデム間表示 モデムーモデム間速度、エラー訂正プロトコル、データ圧縮手順表示 モデムーモデム間速度表示
#	ATXn	通信速度表示、ビジー/ダイヤルトンの検出 接続完了時の通信速度表示の有無です。また、ダイヤルトン(発信音)、ビジー/トンの検出も行います。	0 *1 2 3 4	通信速度表示なし、ビジー/ダイヤルトンの検出なし 通信速度表示あり、ビジー/ダイヤルトンの検出なし 通信速度表示あり、ダイヤルトン検出あり 通信速度表示あり、ビジー/トンの検出あり 通信速度表示あり、ビジー/ダイヤルトン検出あり

AT コマンドの基本

	コマンド (nは数値、 mmlは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
	ATZn	ソフトウェアリセット	0	現在値エリアリセット (不揮発メモリの値を読み込む)
#	AT&Cn	CD信号制御	0 *1	常時ON 相手端末のキャリアに従う
#	AT&Dn	ER信号制御	0 1 *2 3	常時ON ON→OFFでエスケープモード ON→OFFで回線切断 ON→OFFでソフトウェアリセット
	AT&F	現在地エリアの内容を工場出荷の設定に戻す。		
#	AT&Kn	フロー制御	0 *3 4	フロー制御なし RS/CSフロー制御 XON/XOFFフロー制御
#	AT&Pn	ハルス(ダイヤル)速度設定	*1 3	10pps 20pps
#	AT&Sn	DR信号制御	*0 1	常時ON シーケンスに従う
	AT&V	端末の状態表示		
	AT&Wn	現在地エリアの設定値を不揮発性メモリに保存	0 1	プロファイル0として保存 プロファイル1として保存
#	AT&Y	電源オン時の設定	*0 1	電源オン時プロファイル0設定をロード 電源オン時プロファイル1設定をロード
	AT&Zn=x	メモリ登録 電話番号を不揮発性メモリに記憶するコマンドです。	n x	0~3 電話番号 (30桁まで登録可能)

AT コマンドの基本

コマンド (nは数値、 mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
AT%Bn	ブレーク送信 このコマンドはエスケープモードで実行します。非エラー訂正時には、nで指定される長さのブレークを送出します。エラー訂正時には、nの値に関係なく固定長(300ミリ秒)のブレークを送出します。	1~9	n×100msのブレークを送出 (初期値：n=3)
# AT%Kn	ブレーク信号制御 ①モデムがDTEからブレーク信号を受信したとき	0、2、4 1 3 *5	ブレークを相手モデムに送信せず、エスケープモードに入る 送受信バッファをクリアし、ブレーク信号を送出 バッファ内のデータを飛び越し、信号送 出バッファ内のデータと同様にブレーク信号をバッファリング
	②モデムがAT%Bnコマンドを受信したとき	0、1 2、3 4、*5	送受信バッファをクリアして、信号送 出バッファ内のデータを飛び越し、信号送 出バッファ内のデータと同様にブレーク信号をバッファリング
	③非エラー訂正接続中に相手モデムからブレーク信号を受信したとき	0、1 2、3 4、*5	送受信バッファをクリアして、ブレーク信号を送出 バッファ内のデータを飛び越し、信号送 出バッファ内のデータと同様にブレーク信号をバッファリング
# AT%Nn	エラー訂正設定	0 1 2 *3 4 5	ノーマルモード ダイレクトモード V.42リタイアブルオンリーモード V.42オートリタイアブルモード LAPMリタイアブルモード MNPリタイアブルモード
# AT%Cn	データ圧縮設定 エラー訂正設定時のデータ圧縮の方式です。	0 1 2 *3	データ圧縮なし MNPクラス5 ITU-T V.42bis ITU-T V.42bis、MNP5自動設定
# AT%En	自動リトレイン設定 電話回線の状態が悪くなったときに、自動的に回線を切らないで再接続動作をします。	0 1 *2	なし あり(同一速度で再接続) あり(フォールバック・フォールアウトあり)

AT コマンドの基本

コマンド (nは数値、 mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
# AT+MS =a,b,c,d,e,f	通信規格の選択(a,b,c,d,e,f はパラメータ数値をいれま す。)	a= V21 V22 V22B V32 V32B V34 * V90 B103 B212 b= 0 * 1 c= 300 ~33600 d= 300 ~33600 e= 300 ~56000 f= 300 ~56000	300bps (V.21) 1200 bps(V.22) 1200,2400bps(V.22bis) 4800,9600bps(V.32) 4800,7200,9600,12000, 14400bps(V.32bis) 2400,4800,7200,9600,12000,14400, 16800,19200,21600,24000,26400, 28800,31200,33600bps(V.34) 28000,29333,30667,32000,33333, 34667,36000,37333,38667,40000, 41333,42667,45333,46667,48000, 49333,50667,52000,53333,54667, 56000bps(V.90) 300bps (Bell 103) 1200bps (Bell 212A) 自動速度応答なし 自動速度応答あり 送信最低通信速度を指定 (初期値)=300bps 送信最高通信速度を指定 (初期値)=33600bps 受信最低通信速度を指定 (初期値)=300bps 受信最高通信速度を指定 (初期値)=56000bps

●リザルトコード

ATコマンドを入力したとき、その実行結果を知らせるコードです。

数字形式	単語形式	意味
0	OK	正常実行
1	CONNECT	接続完了
2	RING	呼び出し検出
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
5	CONNECT 1200	1200bps接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン未検出
7	BUSY	話中音検出
8	NO ANSWER	無音未検出
10	CONNECT 2400	2400bps接続
11	CONNECT 4800	4800bps接続
12	CONNECT 9600	9600bps接続
13	CONNECT 7200	7200bps接続
14	CONNECT 12000	12000bps接続
15	CONNECT 14400	14400bps接続
16	CONNECT 19200	19200bps接続
17	CONNECT 38400	38400bps接続
18	CONNECT 57600	57600bps接続
19	CONNECT 115200	115200bps接続
20	CONNECT 230400	230400bps接続
24	DELAYED	リダイヤル制限中
32	BLACKLISTED	リダイヤル制限中
33	FAX	FAX通信
35	DATA	DATA通信
40	+MRR:300	300bpsキャリア検出
46	+MRR:1200	1200bpsキャリア検出
47	+MRR:2400	2400bpsキャリア検出
48	+MRR:4800	4800bpsキャリア検出
49	+MRR:7200	7200bpsキャリア検出
50	+MRR:9600	9600bpsキャリア検出
51	+MRR:12000	12000bpsキャリア検出
52	+MRR:14400	14400bpsキャリア検出
53	+MRR:16800	16800bpsキャリア検出
54	+MRR:19200	19200bpsキャリア検出
55	+MRR:21600	21600bpsキャリア検出
56	+MRR:24000	24000bpsキャリア検出
57	+MRR:26400	26400bpsキャリア検出
58	+MRR:28800	28800bpsキャリア検出
59	CONNECT 16800	16800bps接続
61	CONNECT 21600	21600bps接続

AT コマンドの基本

数字形式	単語形式	意味
62	CONNECT 24000	24000bps接続
63	CONNECT 26400	26400bps接続
64	CONNECT 28800	28800bps接続
66	+DR:ALT	MNP5接続
67	+DR:V42B	V.42bis接続
69	+DR:NONE	非圧縮モード接続
70	+ER:NONE	非エラー訂正モード接続
77	+ER:LAPM	LAPM接続
78	+MRR:31200	31200bpsキャリア検出
79	+MRR:33600	33600bpsキャリア検出
80	+ER:ALT	MNP4接続
81	+ER:ALT-CELLULAR	MNP10接続
84	CONNECT 33600	33600bps接続
91	CONNECT 31200	31200bps接続
134	+MCR:B103	BELL 103で接続
135	+MCR:B212	BELL 212Aで接続
136	+MCR:V21	ITU-T V21で接続
137	+MCR:V22	ITU-T V22で接続
138	+MCR:V22B	ITU-T V22bisで接続
140	+MCR:V32	ITU-T V32で接続
141	+MCR:V32B	ITU-T V32bisで接続
142	+MCR:V34	ITU-T V34で接続
145	+MCR:V90	ITU-T V90で接続
150	+MRR: 32000	32000bpsキャリア検出
151	+MRR: 34000	34000bpsキャリア検出
152	+MRR: 36000	36000bpsキャリア検出
153	+MRR: 38000	38000bpsキャリア検出
154	+MRR: 40000	40000bpsキャリア検出
155	+MRR: 42000	42000bpsキャリア検出
156	+MRR: 44000	44000bpsキャリア検出
157	+MRR: 46000	46000bpsキャリア検出
158	+MRR: 48000	48000bpsキャリア検出
159	+MRR: 50000	50000bpsキャリア検出
160	+MRR: 52000	52000bpsキャリア検出
161	+MRR: 54000	54000bpsキャリア検出
162	+MRR: 56000	56000bpsキャリア検出
165	CONNECT 32000	32000bps接続
166	CONNECT 34000	34000bps接続
167	CONNECT 36000	36000bps接続
168	CONNECT 38000	38000bps接続
169	CONNECT 40000	40000bps接続
170	CONNECT 42000	42000bps接続

AT コマンドの基本

数字形式	単語形式	意味
171	CONNECT 44000	44000bps接続
172	CONNECT 46000	46000bps接続
173	CONNECT 48000	48000bps接続
174	CONNECT 50000	50000bps接続
175	CONNECT 52000	52000bps接続
176	CONNECT 54000	54000bps接続
177	CONNECT 56000	56000bps接続
180	CONNECT 28000	28800bps接続
181	CONNECT 29333	29333bps接続
182	CONNECT 30667	30667bps接続
183	CONNECT 33333	33333bps接続
184	CONNECT 34667	34667bps接続
185	CONNECT 37333	37333bps接続
186	CONNECT 38667	38667bps接続
187	CONNECT 41333	41333bps接続
188	CONNECT 42667	42667bps接続
189	CONNECT 45333	45333bps接続
190	CONNECT 46667	46667bps接続
191	CONNECT 49333	49333bps接続
192	CONNECT 50667	50667bps接続
193	CONNECT 53333	53333bps接続
194	CONNECT 54667	54667bps接続
195	+MRR:28000	28000bpsキャリア検出
196	+MRR:29333	29333bpsキャリア検出
197	+MRR:30667	30667bpsキャリア検出
198	+MRR:33333	33333bpsキャリア検出
199	+MRR:34667	34667bpsキャリア検出
200	+MRR:37333	37333bpsキャリア検出
201	+MRR:38667	38667bpsキャリア検出
202	+MRR:41333	41333bpsキャリア検出
203	+MRR:42667	42667bpsキャリア検出
204	+MRR:45333	45333bpsキャリア検出
205	+MRR:46667	46667bpsキャリア検出
206	+MRR:49333	49333bpsキャリア検出
207	+MRR:50667	50667bpsキャリア検出
208	+MRR:53333	53333bpsキャリア検出
209	+MRR:54667	54667bpsキャリア検出
+F4	FCERROR	

注：+MRR:の後には、以下の通り送信キャリア速度と受信キャリア速度が表示されます。
+MRR:X,Y(X:送信キャリア速度、Y:受信キャリア速度)

AT コマンドの基本

● S レジスタ

レジスタ	設定値(初期値)	機 能
# S0	0 自動着信なし 1~55 (0)	自動着信/着信呼出回数の設定 自動着信するまでの呼出回数を設定します。 (単位:回)
S1	0~255	着信呼出回数のカウント モデムが呼出信号を受信したとき、その受信回数をカウントします。 呼出信号を8秒間受信しないと0になります。(読み出し専用)
S2	0~127 (43)	エスケープコードの設定 データ通信中、一時的にコマンド入力ができる状態にするためのエスケープコードを設定します。(10進のアスキーコード)
S3	0~127 (13)	CRコードの設定 コマンドの最後に入力するキャリッジリターンコードを設定します。 (10進のアスキーコード)
S4	0~127 (10)	LFコードの設定 ラインフィードコードを設定します。画面を1行スクロール(改行)させるためのコードを設定します。(10進のアスキーコード)
S5	0~32、127 (8)	BSコードの設定 バックスペースコードを設定します。コマンドの入力ミスを訂正するためのコードを設定します。(10進のアスキーコード)
# S6	2-255(4)	ATX0、X1、X3設定時のダイヤルまでの待ち時間設定 ATX0、X1、X3設定時には、オフフックからダイヤルまでの待ち時間を設定します。(単位:秒)
S7	50固定(設定不可)	オフフック制限タイム 通信開始までの待ち時間 オフフックから、このレジスタで設定された時間までに相手モデムのキャリアが検出されないと、“NO CARRIER”を表示し、オンフックします。
S8	2~7 (2)	ダイヤルボース時間 ダイヤルオプションの、(カンマ)でダイヤル信号送出を休止する時間を設定します。(単位:秒)
# S9	1~255 (12)	キャリア認識時間 このレジスタで設定した時間以外相手モデムからのキャリアが検出できるとき、接続状態になります。(単位:1/10秒)
# S10	1~255 (14)	キャリア許容断時間 通信中にこのレジスタで設定した時間以上、相手モデムからキャリアがなかったとき、回線を切断します。このレジスタを255に設定した場合は、回線を切断しません。通信中によく回線が切れるときは、このレジスタの設定値を大きくしてください。(単位:1/10秒)
# S12	20~255 (50)	ガードタイム エスケープコードの前後のデータ送信を行わない時間を設定します。 (単位:1/50秒)
S25	0~255 (5)	ER許容断時間 通信中に、このレジスタで設定された時間以上、ER信号がOFFになったとき、回線を切断します。(単位:1/100秒)
# S30	0: アポートタイムなし 1~255 (0)	アポートタイム データの送信または受信が一定時間以上ないときに回線を切断するアポートタイムの時間を設定します。エラー訂正モードでは、データを送信または受信したときにこのタイムがリセットされます。また、非エラー訂正モードでは、データを送信したときにこのタイムがリセットされます。 (単位:10秒)

●お困りのときには

◇ PCMCIA カードスロットタイプの CD-ROM ドライブをご使用の場合

PCMCIA カードスロットタイプの CD-ROM ドライブをご使用の場合、本モデムを CD-ROM ドライブと同時に使用することができません。

以下を参照しインストールを行ってください。

● Windows®Server™2003/XP の場合

- 1 「マイコンピュータ」→「CD-ROM ドライブ」の順にダブルクリックしてください。
- 2 「Win2000XP」フォルダをデスクトップにドラッグ&ドロップしてコピーします。
- 3 デスクトップにコピーした「Win2000XP」フォルダをダブルクリックしてください。
- 4 「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- 5 「OMRON ME5614C2 InstallShield ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。
- 6 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら「インストール」をクリックしてください。
- 7 「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されます。「完了」をクリックしてください。
- 8 本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

9 「次の場所で最適なドライバを検索する」にチェックします。
「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックマークを外し、「次の場所を含める」にチェックしてください。

10 「参照」ボタンをクリックし、「Win2000XP」フォルダを選択して「OK」をクリックします。元の画面に戻りましたら「次へ」をクリックします。

11 ドライバの一覧が出ます。
以下に該当している項目を選択して「次へ」をクリックしてください。

説明→「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」

場所→「documents and settings¥(アカウント名)

¥デスクトップ¥Win2000XP¥Windows¥INF¥mdmomrc2.inf」

12 「Windows ログテストに合格していません。」と表示されますが、特に問題はありませので「続行」をクリックしてください。

13 「完了」をクリックしてください。

この後の操作は、P28の11以降に従って進めてください。

●Windows®2000の場合

1 「マイコンピュータ」→「CD-ROM ドライブ」の順にダブルクリックしてください。

2 「Win2000XP」フォルダをデスクトップにドラッグ&ドロップしてコピーします。

3 デスクトップにコピーした「Win2000XP」フォルダをダブルクリックしてください。

4 「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。

5 「OMRON ME5614C2 InstallShield ウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。

お困りのときには PCMCIA カードスロットタイプの CD-ROM ドライブをご使用の場合

6 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら「インストール」をクリックしてください。

7 「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されます。「完了」をクリックしてください。

8 本モデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。ドライバのインストールが開始されます。

9 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示される場合は「はい」をクリックしてください。

この後の操作は、P34 の 7 以降に従って進めてください。

● Windows®Me/98/95 の場合

1 「マイコンピュータ」→「CD-ROM ドライブ」の順にダブルクリックしてください。

2 「Win9xNT」フォルダをデスクトップにドラッグ&ドロップしてコピーします。

3 デスクトップの「Win9xNT」フォルダを指定してインストールを進めてください。

◇モデム/インターネット接続に問題がある場合 (Windows®Server™2003/XP/2000/Me/98/95)

本モデムの動作やインターネット接続に問題がある場合の対策や各種要望などについて説明します。本章に記載されている対策でも解決されない場合は、当社カスタマサポートセンタ（TEL ☎ 0120-77-4717）へお問い合わせください。

Q1. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー-630:

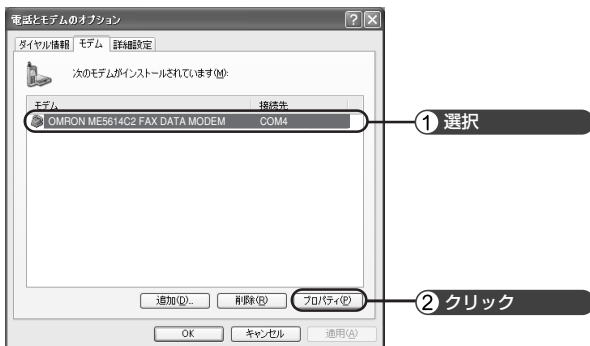
コンピュータは、モデムからの応答を受信しません。モデムが正しく装着されているか確認し、必要であればモデムの電源を一度切って、入れ直してください。

エラー-630:

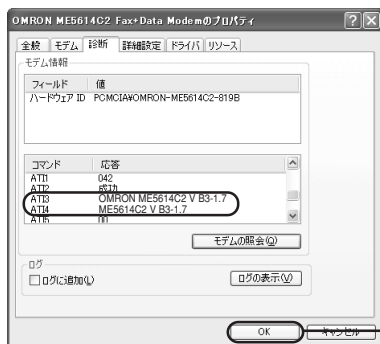
モデムが正しく応答していません。

1. 「モデムの照会」が開けますか？ (Windows®Server™2003/XP/2000) 設定したドライバとパソコンに接続したME5614C2が正常に動作するかどうかを確認します。

- ① [スタート]→([設定])→[コントロールパネル]をクリックしてください。
- ② [電話とモデムのオプション]をダブルクリックし[モデム]タブをクリックしてください。
[OMRON ME5614C2 FAX DATA MODEM]が表示されているポートのアイコンをクリックし、[プロパティ]をクリックしてください。



- ③ 「診断」タブをクリックし、[モデムの照会]をクリックしてください。
- ④ しばらくするとモデムとの応答結果が表示されます。
[モデムの照会]画面が表示されたら接続は完了です。[OK]をクリックし、デスクトップ画面に戻ってください。



Windows®Me/98SEの方は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[モデム]の順にダブルクリックしてください。[検出結果]タブをクリックし、「OMRON ME5614C2 FAX DATA MODEM」が表示されているポートをクリックし、[詳細]または[詳細情報]をクリックすると確認できます。

2. 詳細情報が開けない。開こうとするとエラーメッセージが出る。

- ① 本PCカードモデムがパソコンのカードスロットに正しく差し込まれているか確認してください。(奥までしっかり挿入してください。)
- ② パソコンの電源をOFFにし、カードスロットから1度カードを抜いて、再度挿入してから行ってください。カードスロットが複数ある場合は、別のスロットに差し替えてください。

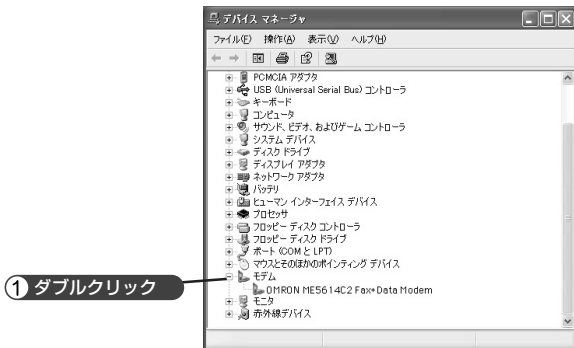
《Windows®Me/98/95の場合》

- ③ 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックしてください。
「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されるアイコンの中から「モデム」をダブルクリックしてください。アイコンの下にモデム形式が表示されるかを確認してください。



《Windows®Server™2003/XP/2000の場合》

- ① 「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。表示されるアイコンの中から「モデム」をダブルクリックしてください。アイコンの下にモデム形式が表示されるかを確認してください。



3. 他のモデムを選択していませんか？

[スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。

Windows®Server™2003/XP以外の方は、作成したダイヤルアップの接続アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてください。



正しく選択されているか、または「OMRON ME5614 C2」のみチェックが入っているか、ご確認ください。

Q2. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー 680:
発信音が聞こえません。

1. 回線は正しく接続されていますか？

2. 他のモデムを選択していませんか？

上記Q1の3を参照し、確認してください。

3. 内線発信の回線ではありませんか？

① Windows®Server™2003/XP/2000の方は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[電話とモデムのオプション]→[モデム]→[プロパティ]→[ダイヤルの管理]→[発信音を待ってからダイヤルする]のチェックをはずしてください。Windows®Me/98の方は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[モデム]→[プロパティ]→[接続]タブ→[トーンを待ってからダイヤルする]のチェックをはずしてください。

- ② Windows®Server™2003/XP/2000の方は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[ネットワーク接続]→([ネットワークとダイヤルアップ接続]→)[接続するプロバイダのアイコン]をダブルクリック→[プロパティ]→[全般]タブ(→[規則])→[ダイヤル情報]→[編集]→[全般]の[市内通話の場合の外線発信番号][市外通話の場合の外線発信番号]の欄に[0]や[9]などの外線発信番号を入力します。



※ または、アクセスポイントの電話番号欄に、外線番号(例：0発信の場合は0と「,」を含めてアクセスポイントを入力してみてください。

例) 0発信の場合
0,,,1234567890

- ③ Windows®Me/98SEの方は、[マイコンピュータ]→([コントロールパネル]→)[ダイヤルアップネットワーク]→[接続するプロバイダのアイコン]をダブルクリックしてください。[市内通話]や[市外通話]または[長距離]欄に[0]や[9]などの外線発信番号を入力します。

※ または、アクセスポイントの電話番号欄に、外線番号(例：0発信の場合は0と「,」を含めてアクセスポイントを入力してみてください。

例) 0発信の場合
0,,,1234567890

Q3. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー-676:
回線が使用中です。
しばらくしてから、やり直してみてください。

エラー-676:
回線回線はビジーです。

1. 回線が混んでいませんか？

アクセスポイントの回線が混んでいることが考えられます。アクセスポイント先の電話番号を変更してみてください。

2. お使いの電話回線の種類

(トーン・パルス)は間違っていますか？

[スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。

[全般]タブの電話番号欄で[ダイヤル情報を使う]にチェックマークをつけ、「ダイヤル情報」をクリックしてください。

所在地情報をクリックし、[編集]をクリックしてください。ダイヤル方法で使いの電話回線(トーン・パルス)を選び、再び接続し直してみてください。

3. 自動発信規制がかかっていませんか？

本モデムでは、話中の場合の同じ電話番号への発信は3分間で2回以内に制限されます。最初の発信から3分待つか、別の電話番号へ発信してください。

Q4. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー-678:
ダイヤル先のコンピュータが応答しません。
しばらくしてからやり直してください。

エラー-678:
リモートコンピュータが応答しませんでした。……

1. 回線が混んでいませんか？

回線が混雑してつながらない可能性があります。しばらくしてから、もう一度接続してみるか、他のアクセスポイントに接続して接続できるかをご確認ください。

2. アクセスポイントに間違いがありませんか？

接続先の電話番号に間違いがないかご確認ください。他のアクセスポイントの番号へ変更してどうかお試しください。

Q5. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー-691:

ユーザ名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした。

エラー-691:

ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップ接続を確立できませんでした。
パスワードを確認してからやり直してください。

1. パスワードが間違っていないですか？

ID、パスワードの入力が間違っている可能性があります。もう一度正しく入力し直してください。また入力方法は半角入力で大文字、小文字などを間違えないようご注意ください。

Q6. 「サーバーの種類で指定された互換性のあるネットワークプロトコルを処理できませんでした。コントロールパネルでネットワーク設定を調べてから接続し直してみてください。」というメッセージが出て接続できない

1. [スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。「ネットワーク」タブをクリックし、「この接続は次の項目を使用します」は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にチェックを入れてください。

Q7. ブラウザを開いたときに「～が見つかりません」「http://～が見つかりません」などのメッセージが表示される

1. ドメインネームサーバー(DNS)のIPアドレスやドメイン名の設定が間違っていないかプロバイダから通達された資料を確認してください。
2. ダイヤルアップネットワークで作成したアイコンを削除し、「新しい接続」アイコンから作り直してください。

Q8. 接続スピードが遅い、ホームページの表示が遅い

1. 最大56Kbpの高速通信を実現させるV.90方式では、回線側の影響を受けやすくなっています。回線の品質以上の速度で接続した際に、頻繁にリトレインやフォールバック/フォールワードを起こしているのかもしれませんが。またその際にエラー訂正も実施されるために、非常にデータの転送速度が遅くなっている可能性があります。

《Windows®2000の場合》

「マイコンピュータ」→「電話とモデムのオプション」→「モデム」タグ→「OMRON ME5614C2」クリック→「プロパティ」→「詳細」タグ→「追加の初期化コマンド」に下記を入れます。

《Windows®/98SEの場合》

「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」→「接続先アイコン」右クリック→「プロパティ」→「設定」タグ→「詳細」→「追加設定」に下記を入れます。

① 接続速度を下げます。

ATコマンド、“+MS=V90,1,300,33600,*****”を追加してみてください。*****は48000, 46667, 45333, 42667を入れ替えてみます。

② V.90ではなくV.34で接続します。

ATコマンド、“+MS=V34”

③ リトレイン.フォールバック/フォワードの設定をします。ATコマンド、“%E2”を追加します。

変わらなければ“%E1”を入れてみてください。

④ MNP接続の設定をします。

ATコマンド“¥N5%C1”を追加してみてください。

2. ノイズ対策

- ・モジュラケーブルをできるだけ短いものにしてください。
- ・テレビ、ラジオ、電化製品、電源コンセントからできるだけ離してみてください。ノイズを発生しやすいものを近づけないでください。

Q9. 付属のケーブルが短いので、長くしたい

1. 市販されているケーブルを別途お買い求めください。

- ・モジュラケーブル ----- 6極4芯または、6極2芯。長くしすぎると回線にノイズが乗り、通信速度が遅くなる可能性があります。

Q10. ダイヤル(パルス)発信時の音量を小さくしたい

- ① Windows®Server™2003/XP/2000 の方は、[スタート] → ([設定] →) [コントロールパネル] → [電話とモデムのオプション] の順にクリックしてください。
Windows®Me/98SEの方は、[マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [モデム] の順にダブルクリックしてください。
- ② Windows®Server™2003/XP/2000 の方は、[モデム] タブ → [OMRON ME5614C2 FAX DATA MODEM] → [プロパティ] → [詳細設定] タブ ([詳細] タブ) の順にクリックしてください。
Windows®Me/98SEの方は、[OMRON ME5614C2 FAX DATA MODEM] → [プロパティ] → [接続] → [詳細] の順にクリックしてください。
- ③ [追加の初期化コマンド] 欄または [追加設定] 欄に“ATM0&W” (0 は数字のゼロです。) と入力し、[OK] をクリックしてください。

Q11. CD-ROMがわからない

[マイコンピュータ]をダブルクリックします。CD-ROM(D)が、CD-ROMドライブになります。(下記、例ではDドライブがCD-ROMドライブになります。)



◇ Windows®CE の場合

インターネットへ接続できない、または接続後のトラブルが発生したときは、以下をご覧ください。設定を確認してください。

● Windows®CE2.0/2.11 の場合

7 「ダイヤル中」のままになり接続できない

確認 1 「追加設定」欄にw2が入っていることを以下の手順で確認してください。

「スタート」→「プログラム」→「通信」→「リモートネットワーク」で「接続先」をALT+タップし、プロパティを開いてください。「モデム設定」→「呼び出しのオプション」タブ→「追加設定」欄にw2が入っていることを確認してください。

「切断完了」と表示され、接続できない。

対策 1 ユーザ名、パスワードが正しく入力されていることを確認・再入力してください。

2 「回線がビジー状態です。後でかけ直してください」と表示され、接続できない

確認 1 アクセスポイントの電話番号が正しく入力されていることを確認してください。

● Windows® Powered Pocket PC の場合

7 インターネットに接続できない

対策 1 本モデムが奥まで差し込まれていますか。

モバイルPCのカードスロットに本モデムが装着されていることを確認してください。

対策 2 モデムの選択はありますか。次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ 設定画面が表示されますので、接続先の名前をタップします。
- ④ [モデムの選択]には“OMRON ME5614C2”が表示されていますか。

対策 3 電話番号は正しく設定されていますか。

次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ 設定画面が表示されますので、接続先の名前をタップします。
- ④ [次へ]をタップします。
- ⑤ 次の項目を確認してください。

国番号欄：国番号が正しく入力されていますか。

市外局番欄：空欄

電話番号欄：アクセスポイントの電話番号が市外局番より正しく入力されていますか。(入力方法はP71をご参照ください。)

対策4 ユーザー名・パスワードが正しく入力されていますか。
パスワードは“*”マークで表示されるため入力の際は注意が必要です。
大文字/小文字を注意して再入力してください。

対策5 TCP/IPの設定は正しいですか。
次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ 設定画面が表示されますので、接続先の名前をタップします。
- ④ [詳細設定]をタップし、[TCP/IP]タブをタップします。
- ⑤ 詳細設定画面(TCP/IP)が表示されますので、プロバイダから指示された事項が設定されているか確認してください。

対策6 ドメインの設定は正しいですか？
次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[Internet Explorer]の順にタップします。
- ② [ツール]→[接続]の順にタップします。
- ③ [ドメイン]欄が空欄になっているか確認してください。

対策7 発信元及び回線の種類の設定が正しいですか。

次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ [ダイヤル]タブをタップします。
- ④ 次の項目を確認してください。
発信元欄：携帯など(「インターネットに接続するための設定を行う」のP71の4でつけた名前です。)
市外局番欄：空欄
トーンまたはパルスを正しく入力してください。

- ⑤ [ダイヤルボタン]をタップします。
「市内通話」、「市外通話」、「国際通話」欄に“0,”の文字がついている場合は0発信になってしまうため0を削除してください。

2 ホームページが見られない

対策1 Internet Explorer を起動しても [ツール]→[接続]が選択できない場合は、[Today]より右下のアイコンで[切断]してから再度行ってください。

対策2 DNS 設定が間違っていないか。

次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ② お使いの接続名をタップします。
- ③ [詳細設定]→[ネームサーバーアドレス]タブをタップします。
- ④ プライマリDNS・セカンダリDNSにプロバイダから通知されたアドレスが入力されているかご確認ください。

対策3 ホームページアドレスが正しく入力されていますか？

ホームページアドレスが正しく入力されていない可能性があります。
再度入力しなおしてみてください。

対策4 アクセスが混み合っていたり、サーバー側に問題が生じている可能性があります。他のホームページアドレスを入力し、表示できるかご確認ください。

◇ Macintosh の場合

インターネットへ接続できない、または接続後のトラブルが発生したときは、以下をご覧ください。設定を確認してください。

1 ダイヤルできない

対策1 P76の「STEP1ドライバをインストールする」を読んで、ドライバ(CCLファイル)をインストールしなおしてください。

対策2 P77の3項ではCD-ROM内の「OTHER」フォルダ内にある「OMRON ME5614C2_ERON」をコピーしてモデムの設定を変更してください。

2 速度が遅いと感じた場合

対策1 P76の「STEP1ドライバをインストールする」を読んでドライバ(CCLファイル)をインストールしなおしてください。

対策2 P77の3項ではCD-ROM内の「OTHER」フォルダ内にある「OMRON ME5614C2_V34」をコピーしてモデムの設定を変更してください。

3 「モデムが正しく応答しません」と表示され、接続できない

対策1 モデムがパソコンと電話回線に正しく接続されているか、ご確認ください。

対策2 「アップルメニュー」→「モデム」→「経由先」と「モデム」が「ME5614C2」になっているか、ご確認ください。

対策3 「アップルメニュー」→「セレクト」をクリックし、「アップルトーク」を「不使用」にチェックを入れ、保存してください。

4 経由先、モデムに機種名が表示されない

対策1 「システムフォルダ」→「機能拡張」→「Modem Script」フォルダにCCLファイルがコピーされているか、ご確認ください。

5 ダイヤルするが話中になる

対策1 お使いの電話回線の種類(トーン、パルス)は間違っていないか。「アップルメニュー」→「コントロールパネル」→「モデム」で、「ダイヤル」が正しくチェックされているか、ご確認ください。「トーン」と「パルス」を変更してみてください。

6 「接続できません。利用者として認証されませんでした。」と表示され、接続ができない

対策1 ID、パスワードが正しく入力されているか、もう一度確認し、再入力してください。

対策2 入力方法は、半角入力で大文字、小文字など間違えないようご注意ください。

◇モデムの動作を確認する...Windows®Server™2003/XP/2000/Me/98/95/NT4.0の場合

本モデムとパソコンとの接続を、時報(117)に接続して確認します。確認には、Windows®Server™2003/XP/2000/Me/98/95/NT4.0に標準で装備されている「ハイパーターミナル」を使用します。

長時間使用しなかった場合、または、設定を間違えたために正常に動作しなくなった場合は、モデムを初期化してください。

大切

ハイパーターミナルがない場合は、各OSのシステムCD-ROMからインストールしてください。
詳しいインストール方法はご使用のパソコンメーカーへご確認ください。

1 Windows®Server™2003/XP/2000/Me/98/95の「スタート」→「プログラム」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてください。

「HyperTerminal」画面が表示されます。

WindowsNT®4.0の方は

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「ハイパーターミナル」→「ハイパーターミナル」をクリックしてください。



1 クリック

2 「Hypertrm」アイコンをダブルクリックしてください。
(この画面は出ない場合があります)



1 ダブルクリック

3 「名前 (N)」欄に適当な名前(この例では「ABC」と入力し、「OK」をクリックしてください。



2 クリック

- 4** 「電話番号 (P)」欄に適当な数字 (この例では「111」) を入力し、「接続方法 (N)」欄はプルダウンメニューが「ME5614C2」をクリックしてください。入力後、「OK」をクリックしてください。




- 5** 「キャンセル」をクリックしてください。これで AT コマンドの入力可能なターミナルモードに入ります。

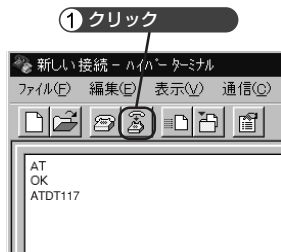


- 6** ターミナルモードで、次のように AT コマンドを入力して時報に接続します。

- ① **AT**
- OK** が表示されます。
AT が表示されない場合でも、**AT** と入力し、**OK** が表示されるか確認してください。
AT もしくは **OK** が表示されない場合は **AT&F** を入力してください。
AT および **OK** が表示されます。
- ② **ATDT117**
- (**ATDT117** は電話回線がトーンの場合です。パルスのときは **ATDP117** と入力します。) 接続が完了すると時報が聞こえてきます。



- 7** メイン画面のツールバーの  ボタンをクリックしてください。時報への接続が終了します。



8 メニューバーの「ファイル」メニューをクリックして、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてください。

9 「セッションABCを保存しますか？」と聞いてきますので「いいえ」をクリックしてください。「ハイパーターミナル」が終了します。
これで、モデムの初期化と動作テストが完了しました。



① クリック

留意事項

- 「BUSY」が表示されたら、別の電話番号にかけてみてください。

◇ドライバの削除方法

インターネットにつながらない、詳細情報が開けない場合は、「ドライバ」及び「モデム設定ファイル」を削除し、再度インストールを行ってください。

●Windows® Server™2003/XPの場合

- 1** 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックしてください。「電話とモデムのオプション」をダブルクリックしてください。



①ダブルクリック

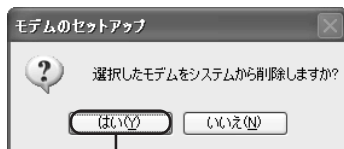
- 2** 「モデム」タブをクリックし、「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」をクリックし、「削除」をクリックしてください。

① 選択



② クリック

- 3** 「選択したモデムをシステムから削除しますか?」と表示されますので「はい」をクリックしてください。



① クリック

- 4** 「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」が削除されたことを確認してください。



① クリック

[OK]をクリックして、「コントロールパネル」に戻ってください。

5 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックして、インストールされているプログラム一覧から「OMRON ME5614C2」を選択して「削除」をクリックしてください。



① クリック

6 「はい」をクリックしてください。



① クリック

以上で削除が完了しました。
画面右上の[×]をクリックしてデスクトップ画面に戻ってください。

●Windows®2000の場合

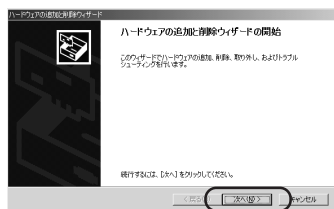
1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックしてください。

2 「ハードウェアの追加と削除」をダブルクリックしてください。



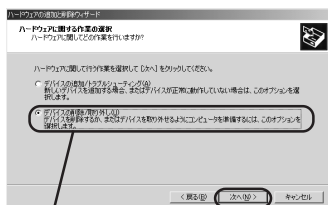
1 ダブルクリック

3 「次へ」をクリックしてください。



1 クリック

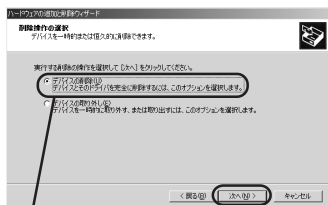
4 「デバイスの削除/取り外し」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



1 選択

2 クリック

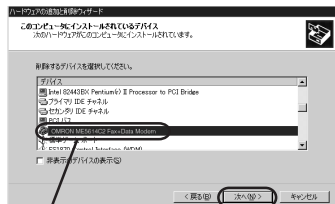
5 「デバイスの削除」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



1 選択

2 クリック

6 削除するデバイスで「OMRON ME5614C2 Fax+Data Modem」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



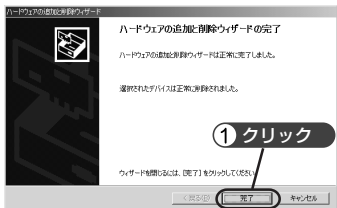
1 選択

2 クリック

7 「はい、このデバイスを削除します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



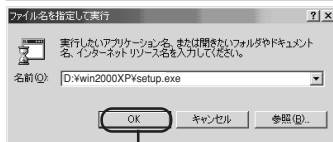
8 「選択されたデバイスは正常に削除されました。」と表示されます。「完了」をクリックしてください。



添付のCD-ROM をセットしてください。

9 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。名前に「D:¥Win2000XP¥setup.exe」と入力し、「OK」をクリックしてください。

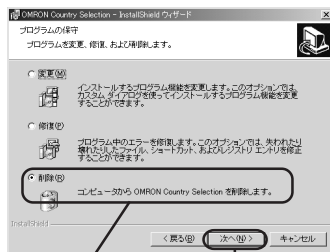
ここではDドライブをCD-ROMドライブとしていますが、お使いのパソコンによってはドライブ名が異なります。「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのドライブをご確認ください。



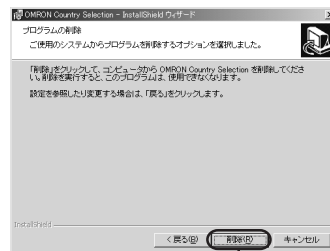
1 クリック

10 「次へ」をクリックしてください。

11 「削除」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



12 「削除」をクリックしてください。



1 クリック

13 「完了」をクリックしてください。



1 クリック

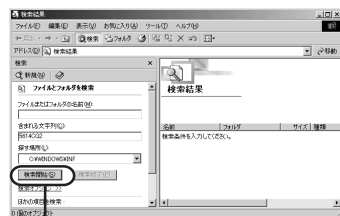
●Windows®Me/98/95の場合

OSのバージョンにより画面が異なります。Windows®Meの画面で説明します。

1 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「モデム」の順にクリックし、一覧に「OMRON ME5614C2」が表示されている場合は、選択し、削除をクリックしてください。削除後、閉じてデスクトップ画面に戻ります。

2 デスクトップ画面の「スタート」→「検索」→「ファイルやフォルダ」の順にクリックしてください。

3 「含まれる文字列」欄に「5614C2」、「探す場所」欄にドライブ名(例えば「C:\¥WINDOWS¥INF」)を入力し、検索開始をクリックしてください。



1 クリック

4 検索して表示されたファイルを全て削除してください。表示されたファイル名を選び、「ファイル」→「削除」をクリックして削除します。削除後、閉じてデスクトップ画面に戻ります。

5 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順にダブルクリックしてください。

6 「OMRON ME5614C2」を選択し、「追加と削除」をクリックしてください。



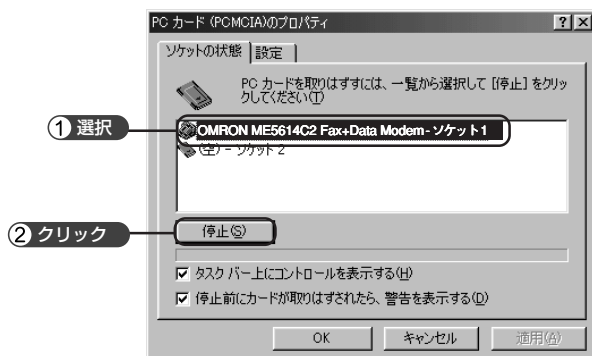
2 クリック

7 以上で削除が完了しました。画面をすべて閉じてください。

◇ PC カードの取りはずし方法

1 PC カード(PCMCIA)のプロパティを開く
PC カードを取りはずすには、「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」の順でクリックし、「PC カード (PCMCIA)」をダブルクリックします。「PC カード (PCMCIA)」画面が表示されます。

2 取りはずすカードを選択して、「停止」ボタンをクリックする
「このデバイスは安全に取りはずせます」と表示されたら、スロットからPCカードを取り出してください。



留意事項

アンインストール実行直後、この画面を開くと(空)表示となっています。その時は、安全に取り出せますのでスロットからカードを取り出してください。

●用語の解説

用語説明

- 全二重通信方式** 電話と同じように送信側がデータを送っているときに、受信側からもデータを送信できる双方向通信方式です。パソコン通信はほとんどこの方式です。
- 通信速度** 1秒間に送信するデータのビット数。
- データ長** 半角1文字を表すビット数、海外のネットにアクセスするときは7ビット、漢字を扱うときには8ビットとなります。
- パリティ** データの送受信が正しく行われているか、1ビット付加してデータ数の合計が必ず奇数(または偶数)になるようにしてチェックします。
- ストップビット** 文字の区切りを表すビット数のことです。1文字の伝送データの区切りは必ずストップビットとストップビットにはさまれています。従って1ビット以上で設定する必要があります。
- エコーバック** 送られてきたデータを、送信先にそのまま送り返すことをエコーバックといいます。端末自身、モデム、ホストコンピュータ等がエコーバック有無の設定を持ち、入力した文字を、入力した側が確認するために使用されます。一般的には、入力した文字を確認する必要がある時には(ID番号等)ホストコンピュータがエコーバックを行うため、端末、モデムのエコーバック(一般的にはローカルエコーバックと言われる)は不要です。
- モデム** Modulator DE Modulatorの頭文字を取ったもので変復調器。
- シリアル(パラレル)転送** .. 信号の送受信は1本の線で直列に1010と信号を送る方法と4本(または8本、16本、32本)の線で並列に1010・・・と信号を送る方法があります。直列に信号を送る方法をシリアル転送といいます。直列に送る方が転送時間が長くなりますが、伝送路が低価格で作れます。
- ハンドシェイク** 信号の送受信をするときに信号のレベル、幅、スタート、ストップ、自分に送られたものなのかの認識、どんな言語かの認識等が一致したとき始めて通信できます。モデムが通信を開始する直前にモデム同士でお互いに通信条件の情報交換を行い条件を合わせることをいいます。
- 同期方式** 送受信間のデータの始まり、終わりのときのタイミングの取り方。
- 調歩同期** 一定の長さのデータの前後にスタートビットとストップビットと呼ばれる同期のためのビットを付けて伝送する方式。
- NCU** Network Control Unit(網制御装置)の略。電話機と同じような機能を持ったもので、パソコンからの指示によって、電話回線にダイヤル信号を送ったり、ダイヤル信号を受けて呼び出し音を鳴らしたりします。

用語の解説

- AA(自動発着信) パソコンからのコマンドにより、自動ダイヤルを行う方式です。
- 通信規格 モデム同士が通信するための変復調方式の規格です。
- ORGモード ORIGINATEの略で一般的にモデム間の通信は発信側をORGモードとし受信側をANSモードにして行います。送信データの電圧レベル、周波数をORG, ANSに割当し送受信が一本の電話線でできるようにするための方法で、必ず相対していないと通信できません。
- ANSモード ANSWERの略で、前記。
- MNP Microcom Networking Protocolの頭文字を取ったもので米国のモデムメーカーのMicrocom社が提唱した、通信回線上のさまざまな原因により発生する通信エラー(文字化け等)をモデム同士で自動的に検出し、訂正するエラーフリー通信とデータ圧縮を実現するプロトコルです
- ATコマンド 米国のヘイズ社が提唱したモデムの発信、着信を全てパソコンからのコマンド指示によってできるようにしたもので現在、世界で最も普及しているモデムのコマンド体系です、全てのコマンドがATで始まっているのでATコマンドと言われています。パソコンがモデムに送る命令をコマンド、命令に対してモデムからパソコンに返される文字列をリザルトコードと呼びます。
- ITU-T 旧称はCCITTのことです。国際電気通信連合電気通信標準科部門のこと。国連の専門機関の1つであり、電気通信サービスの技術、運用等に関する勧告(規格)の作成を行っている。ファクシミリ、ISDN等通信全般について扱っているが、V.○○というのはモデムに関する勧告になっている。
- LAP-M Link Access Procedure for Modemの略。MNPと同様、エラーフリーを実現するプロトコル。V.42で使用されます。
- GIII 電話回線(アナログ式)用のFAX通信手順。国際標準となっており、A4原稿が1分程度で送られます。他にGIVというデジタル式の規格もあり、A4原稿を4秒程度で送ることができます。
- V.42bis CCITTで規定されているデータ圧縮の手順です。V.42bisはLAP-Mとの併用を前提に規定されています。最大300%程度の圧縮を行うことができます。
- K56flex K56flexとは送信が最大33.6Kbps、受信が最大56Kbpsでのデータ転送が可能なロックウェル社が開発した独自の通信規格です。他の56Kbpsの規格であるx2、V.90とは互換性がありません。
- V.90 送信が最大33.6Kbps、受信が最大56Kbpsでのデータ転送が可能な通信規格です。V.90の技術仕様は、1998年2月にITU-T(国際通信規格)によって採択されました。

■データ通信、FAXモデムの基礎知識

●データ通信の基礎知識

フロー制御とは？

データ圧縮を使っているときのように、モデム-モデム間と端末-モデム間の処理速度が異なる場合には、処理速度の速い側が遅い側に合わせる必要があります。処理速度の遅い側では、処理が間に合わなくなりそうになると、相手に対して「一時停止」を要求します。処理に余裕ができた時点で「再開」を要求します。このようにデータの流れ(フロー)を制御するので、フロー制御と呼ばれます。

モデムでは、殆どの場合RS/CSフロー制御が使用されます。

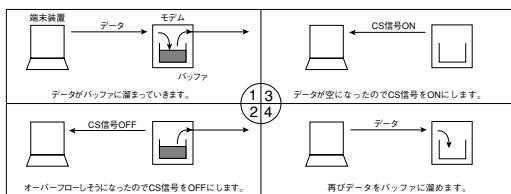
●XON/XOFFフロー制御

パソコン通信ソフトでおなじみのフロー制御方式です。XON/XOFFフロー制御方式に設定されたモデムはバッファがオーバーフローしそうになったらXOFFコードを送出しバッファが空になったらXONを送出します。

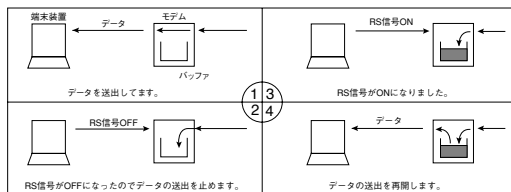
●RS/CSフロー制御

XON/XOFFフロー制御方式ではバイナリーデータや漢字テキストデータを送出すると誤動作や、データ抜けが occurs します。

これらの問題を解決したフロー方式がRS/CSフロー制御方式です。RS-232Cインタフェースの信号のRS信号とCS信号を使ってフロー制御を行う方式です。RS/CSフロー制御方式に設定したモデムはバッファがオーバーフローしそうになったらCS信号をOFFにします。そして再び、バッファが空になったらONにします。次の図を参照してください。



また、モデムはRS信号がOFFになったらデータの送出を止め、RS信号がONになったらデータの送出を再開します。次の図を参照してください。



● FAX モデムの基礎知識

クラス1、クラス2とは？

クラス1とクラス2とは、FAXモデム通信の規格であり、FAXコマンドです。データ通信では、ATコマンドを使ってモデムを操作するように、FAXモデムはFAXコマンドを使って操作します。

FAXソフトウェアが私たちの目に見えないところでFAXコマンドを使ってFAXモデムを操作しているのです。実際の操作は、FAXコマンド上の「送信」とか「受信」というような項目選択するだけです。

この二つのコマンドは互換性はありません。そのためFAXソフトを購入するときはクラス1かクラス2かご確認ください。

クラス1とクラス2の性能の違いは？

通信速度や画質の選択(ファイン/ノーマル)などのやりとりをFAXソフト(ソフトウェア)で行うものがクラス1、FAXモデム(ハードウェア)で行うものがクラス2です。

クラス2の方がパソコンのCPUの負荷が軽くなりますが、どちらも通信時間や画質の鮮明さなどに違いはありません。

もっとくわしく理解したいという方は、市販の雑誌等をご覧ください。

付 録

■仕様

●NCU仕様

項 目	機 器 仕 様
通信回線数	1 回線
適用回線	電話回線
NCU 形式	AA
ダイヤル形式	ダイヤルパルス式 (10/20pps) プッシュ式 (トーン式)
NCU 制御コマンド	AT コマンド準拠 (データ通信用) FAX クラス 1 コマンド (EIA-578)
回線モニタ	パソコンのスピーカによる

●データ仕様

項 目	機 器 仕 様	
通信方式	全二重	
同期方式	調歩同期式 (非同期式)	
通信速度	送信	300/1200/2400/4800/7200/9600/12000/14400/16800/ 19200/21600/24000/26400/28800/31200/33600bps
	受信	300/1200/2400/4800/7200/9600/12000/14400/16800/19200/ 21600/24000/26400/28000/28800/29333/30667/31200/33333/ 33600/34667/37333/38667/41333/42667/45333/46667/49333/ 50667/53333/54667/56000bps
通信規格	ITU-T V.21/ V.22/ V.22bis/ V.32/ V.32bis/ V.34/V.90 BELL 212A/103	
端末ーモデム間速度	300/1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200bps	
動作モード	ORG/ANS モード	
送信レベル	- 10dBm ~ - 15dBm	
受信レベル	- 10dBm ~ - 43dBm	
エラー訂正機能	MNP クラス 4/10 準拠、ITU-T V.42 準拠	
データ圧縮機能	MNP クラス 5 準拠、ITU-T V.42bis 準拠	

● FAX 仕様

項 目	機 器 仕 様
伝送制御手順	GIII
通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式（非同期式）
通信速度	300/ 2400/ 4800/ 7200/ 9600/ 12000/ 14400bps
通信規格	ITU-T V.21ch2/ V.27ter/ V.29/ V.17

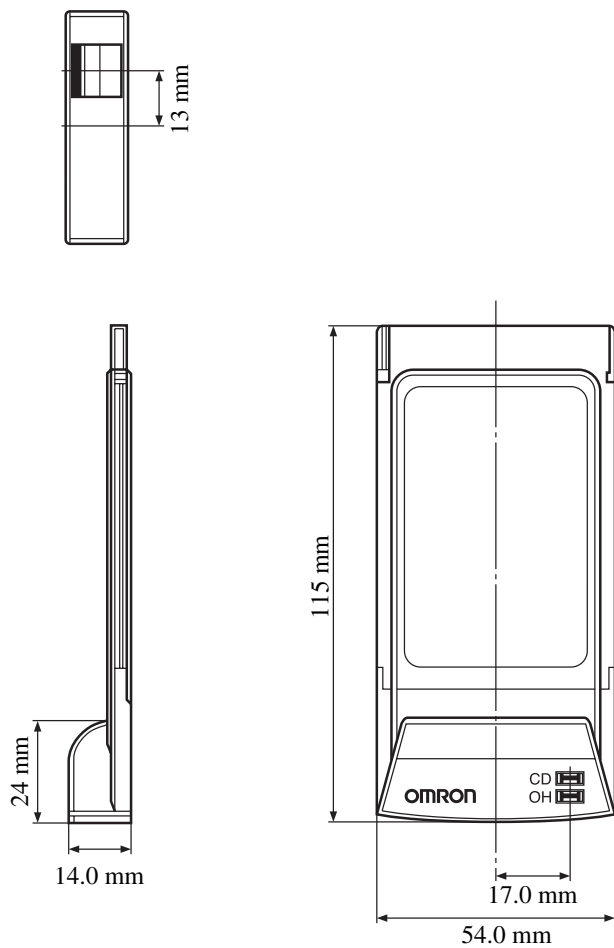
● 一般仕様

項 目	機 器 仕 様
消費電力	最大約0.7VA(5V時) 最大約0.4VA(3.3V時)
寸法／質量	幅：54mm、奥行：115mm、高さ：14mm、質量：40g以下 *PCカードスロットはTYPE IIに適合
環境条件	温度：0～50℃、湿度：25～85%（結露なきこと）

● 技術基準適合認定に関する表示


 認証番号 A04-0589001

■外觀寸法図



■修理のご案内

修理を希望される場合の依頼方法は2つあります。

1. お買い上げ店に持ち込んでいただく方法
2. 商品を当社周辺機器修理センターへ直送していただく方法
(出張修理サービスは行っておりません。ご了承ください。)

<周辺機器修理センターへ直送していただく方法>

1. 修理依頼手順
 - ① 「修理依頼票」をコピーしてください。
 - ② 「修理依頼票」に必要事項をすべて記入してください。
故障内容や発生頻度などを詳しく記入してください。
 - ③ 製造番号／発送日／発送時の送り状No.を控えとして以下に記入してください。
修理品の問い合わせ時に必要です。

製造番号	
発送日	年 月 日
発送業者	
送り状 No.	

- ④ 「修理依頼票」を修理品に同梱し、下記宛先に発送してください。
(送料はお客様負担にてお願いします。)

〒491-0914
愛知県一宮市花池 4-13-11
株式会社 エイスタッフ内
オムロン周辺機器修理センター宛
TEL: 03-3436-7213

2. 修理期間
おおむね1～2週間
*故障状況によっては、1ヶ月以上要する場合がありますのでご了承ください。
3. 修理代金お支払い方法(有償修理の場合)
有償での修理代金は、代金引換または銀行振込にてお支払いください。
 - 代金引換 ヤマト運輸株式会社のコレクトサービスを利用します。
 - 先行銀行振込 振り込み確認後、修理品を発送させていただきます。

修理のご案内

■修理依頼票 ME5614C2

● 修理依頼時、この依頼票に必要な事項をすべて記入の上、製品に同梱してお送りください。

依頼日	平成 年 月 日 ()		
フリガナ			印
お名前			
ご住所	〒		
会社名 部署名			
電話番号		携帯電話番号	
FAX番号			
E-Mail			
製造番号			
保証書	<input type="checkbox"/> 有り 保証書を同梱ください。 <input type="checkbox"/> 無し 保証期間内でも有償となります。		
故障状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時発生 <input type="checkbox"/> 時々発生(具体的に...例：週1回) ()	
	症状とご要望 ※故障内容を詳しく記入してください。		
お支払い方法 (有償の場合)	<input type="checkbox"/> 代金引換 <input type="checkbox"/> 銀行振込(完了品の発送はお振込み確認後となります。)		

お問い合わせせ票

Fax No.: 03-3436-7059

オムロンカスタマサポートセンター行

お問い合わせせ票

* お客様がカスタマサポートセンターにお問い合わせいただくときに本票をご利用ください。

* ご質問の前に「お困りのときには」を一度ご参照ください。

お名前		メールアドレス	
電話番号		ご購入日/台数	年 月 日 / 台
ご住所	〒		* 本製品の裏面に貼ってあるラベルの SERIAL NO. または製造番号を記入ください
型式名	ME5614C2	製造番号*	
パソコン	メーカー名: 型式名:		
ご使用 OS およびバージョン <例: Windows®2000, Mac OS9 >			
プロバイダ	<input type="checkbox"/> 未加入	<input type="checkbox"/> 加入済 (プロバイダ名:)
具体的な内容<エラーメッセージなど;詳しく症状をお書きください>			

FAX/DATA モデムカード

ME5614C2

取扱説明書

2005年11月発行

OMRON

オムロン株式会社 周辺機器事業部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

TEL: 03-3436-7228

技術的な  お問い合わせは周辺機器カスタマサポートセンタまで。

オムロン株式会社

周辺機器カスタマサポートセンタ

TEL: ☎0120-77-4717 (携帯電話/PHSからもご利用いただけます)

FAX: 03-3436-7059

メールアドレス: omron_support@omron.co.jp

受付時間: 月曜日～土曜日 9:00～17:30 (12:00～13:00を除く)

* 祝祭日、当社の休日を除く

住所: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

修理  のお問い合わせは周辺機器修理センタまで。

オムロン株式会社

周辺機器修理センタ

TEL: 03-3436-7213

FAX: 03-3436-7195

メールアドレス: omron_syuri@omron.co.jp

受付時間: 月曜日～金曜日 9:30～17:00 (12:00～13:00を除く)

* 祝祭日、当社の休日を除く

住所: 〒491-0914 愛知県一宮市花池4-13-11

株式会社エイスタッフ内 オムロン周辺機器修理センタ

通信販売  のお問い合わせはオムロンダイレクトまで。

オムロン株式会社

周辺機器オムロンダイレクト

TEL: 03-3436-7212

FAX: 03-3436-7195

メールアドレス: omron_direct@omron.co.jp

受付時間: 月曜日～金曜日 9:30～17:00 (12:00～13:00を除く)

* 祝祭日、当社の休日を除く

住所: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

オムロン周辺機器商品はインターネット  でもお買い求めいただけます。

(ホームページアドレス) <http://www.omron.co.jp/ped-j/direct/index.html>

* 無断複写・転載を禁止します。 * 乱丁本・落丁本はお取り替えいたします。

